



平成 19 年 5 月 25 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 村松 澄夫
(コード番号：2467 名証セントレックス)
問合せ先：執行役員管理部長 柏山 一郎
電話番号：03-5649-2500 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年2月16日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,600	30	35
今回修正予想 (B)	1,687	41	23
増減額 (B - A)	87	71	12
増減率	5.4%		
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	1,278	11	1

2. 平成 19 年 3 月期個別業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	696	30	25
今回修正予想 (B)	707	18	35
増減額 (B - A)	11	12	10
増減率	1.6%		
前期実績 (平成 18 年 3 月期)	905	14	9

3. 業績予想修正の理由

主力の PBISM (Privacy & Business Information Security Management) 事業におきまして、下半期から日本版 SOX 法に対応した内部統制構築支援を開始いたしましたが、サービス開始時期が当初の計画から遅れたにも関わらず、当社がターゲットとする新興市場上場企業を中心に内部統制構築支援に対するニーズが予想以上に早期に顕在化したため、当連結会計年度業績への寄与が当初見込を上回り、売上高及び経常利益ともに前回予想を上回ることとなりました。

一方、投資有価証券評価損 9 百万円を特別損失に計上したこと及び税効果会計を保守的に適用したことなどにより、当期純損失は 23 百万円となりましたが前回予想と比較して改善いたしております。

(備考) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上